

文化財のき損状況（勝入塚、武蔵塚、木下勘解由塚）について

1 国指定文化財 史跡長久手古戦場（勝入塚、武蔵塚）

(1) き損状況

令和6年4月7日（日）に石碑を囲む石柱が転倒していることを生涯学習課職員が確認し、4月17日付で文化庁にき損届を提出。

国指定史跡であるため、愛知県文化財保護指導委員の巡視対象であり、令和6年3月11日の巡視報告では、傾きは指摘されていたが転倒はしていなかったため、その後に倒れたものと考えられる。同じく石柱の転倒の恐れが指摘されていた武蔵塚についても、同時に修繕を行うこととした。

(2) 修繕の状況

愛知県文化財室に工法を相談しながら、石柱修繕工事を実施した。

報告書：別添のとおり 資料 3－2

施工者：一般社団法人 文化遺産修復技術協会

(3) 修繕完了報告

令和6年11月20日に、文化庁への修繕完了報告を県に送付。

2 市指定文化財 長久手合戦史跡（木下勘解由塚）

(1) き損状況

市民からのご意見を受け、令和7年1月6日（月）に生涯学習課職員が現地確認したところ、石碑を囲む石柱の一部にぐらつきを認めたので、転倒を防ぐために石柱1本を外して保管した。

(2) 修繕の予定

現在、愛知県文化財室と相談しながら、修繕方法を検討中。

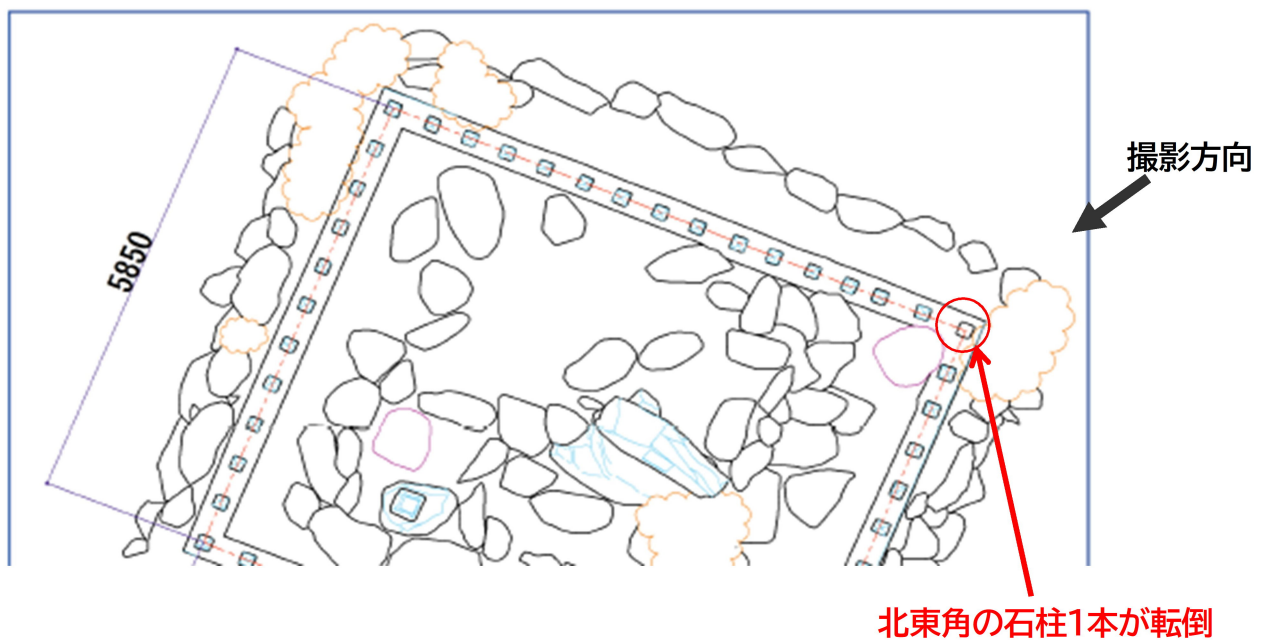
■勝入塚及び武蔵塚の位置図



■勝入塚
写真(修繕前)



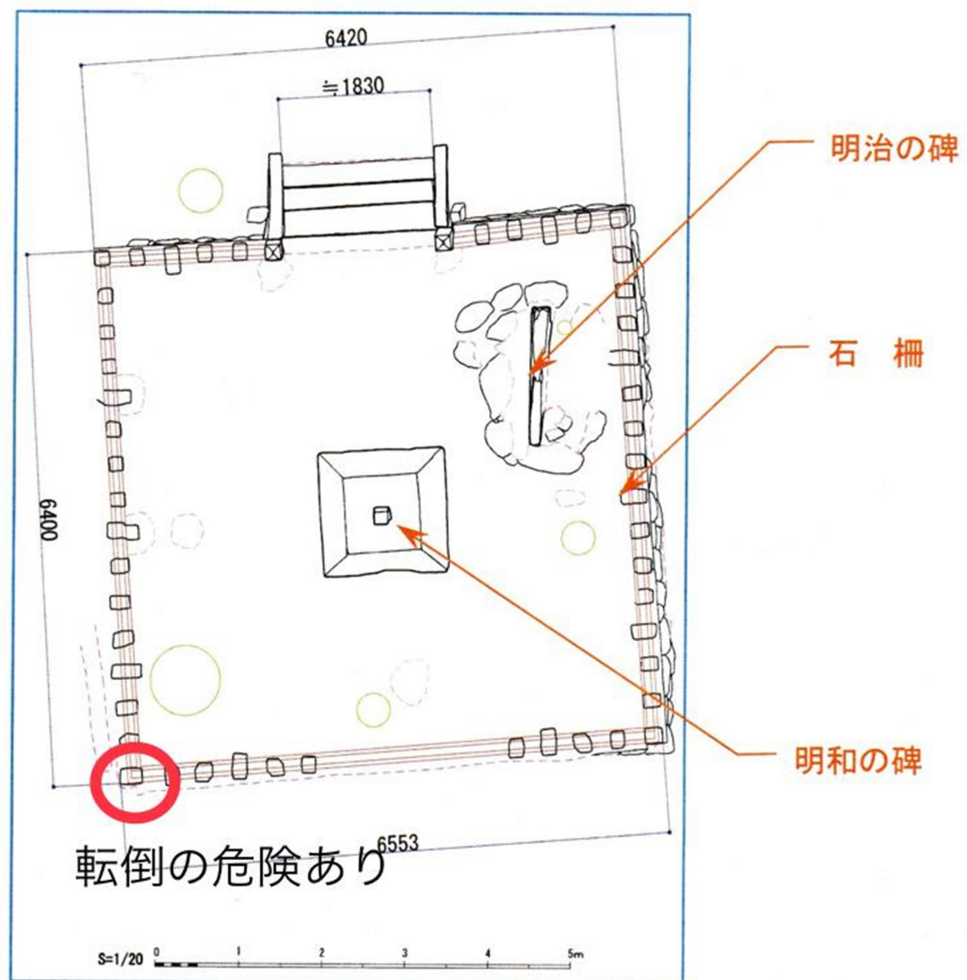
図面



■武蔵塚
写真(修繕前)



図面



[平 面 図]

■木下勘解由塚の位置図



■写真(修繕前)



全景



石柱(北側)

※ぐらつきを認めたので、転倒防止のため取り外して保管中